

看護研究方法演習

単位数：2単位(60時間)

津本優子：基礎看護学講座教授

福間美紀：基礎看護学講座教授

橋本龍樹：臨床看護学講座教授

秋鹿都子：臨床看護学講座准教授

加藤真紀：地域・老年看護学講座准教授

宮本まゆみ：基礎看護学講座講師

木村真司：臨床看護学講座講師

1. 科目の教育方針

看護実践の経験知を可視化し、看護の学問的発展を支えるのが看護研究である。緻密な看護研究により、看護実践の意味が論理的に説明され、質の高い看護実践のための新たな知見が創造され、やがて看護学としての理論的体系化に至る。看護研究を行うことは、看護専門職としての責務である。看護研究の課題は、実践・教育・管理など自己の看護活動の問題意識に根差した、具体的で現実的なものであることが重要である。

本科目では、現実的な問題意識に端を発して、その疑問や問題を研究的に解明し検証していくための科学的方法を学ぶ。CNSをはじめとする大学院修了者には、高度な看護実践者として看護の質向上に寄与することが期待されている。したがって、本科目での学習を看護学特別研究へと繋ぐことにより、看護研究を自律して実施する能力、研究の成果を看護実践に活用し、評価する能力の獲得を目指す。

2. 教育目標

- 1) 看護研究の目的と意義を理解する。学習と研究の相違、問題解決過程と研究過程の相違をふまえ、看護研究のプロセスを理解する。
- 2) 研究デザインおよび主な研究方法の看護研究への適用について理解する。
- 3) 看護研究における倫理的配慮の重要性と具体的方法を理解する。
- 4) 量的研究のデータ分析に必要な基本的な統計解析の方法を理解する。
- 5) 質的研究のデータ分析に必要な質的帰納的アプローチの方法を理解する。
- 6) 文献をクリティークして質の高い研究論文を、実践、研究、管理の問題解決に活用する方法を理解する。
- 7) 研究計画の全体像を理解する。

3. 教育の方法、進め方、評価等

【方法】1～8 コマ目まではオンライン（オンデマンド）で行い、演習方式で行うコマ（9コマ目以降）は対面で実施する場合がある。

【評価】演習での議論、発表内容、課題レポート等により、総合的に判断する。

4. 基本テキスト

- 1) DFボーリット他/近藤潤子監訳：看護研究 原理と方法（第2版），医学書院，2010
- 2) 石井京子，田尾清子著：ナースのための質問紙調査とデータ分析，医学書院，2002
- 3) グレグ美鈴，他著：よくわかる質的研究の進め方・まとめ方（第2版），医歯薬出版，2016

【参考テキスト・資料】

講義の中で紹介する

5. 教育内容

木曜：16:50～20:00

コマ	月/日	内 容	講師
1・2	4/8	看護学研究概説：看護学の発展と看護研究・問題解決から研究へ ・看護現象の概念化と看護研究のデザイン ・主な研究方法の特徴と看護研究への適用 ・文献検索の必要性と方法 ・研究計画書の作成	津本
3・4	4/22	疫学研究総論：横断研究と縦断研究、コホート研究	橋本
5・6	5/6	実験研究 ：プロトコールの作成方法及び結果の分析・解析の理論的方法	橋本
7・8	5/13	量的研究(1) 研究デザイン：方法の特徴、限界	津本
9・10	5/20	量的研究(2) データ収集：サンプリング・質問紙作成・分析準備	津本 宮本 木村
11・12 13	<u>5/27</u> <u>14:55-</u>	量的研究(3)(4)(5) データ分析： ① データの要約	
14・15 16	<u>6/3</u> <u>14:55-</u>	② 2変量の解析 ③ 多変量の解析	
17・18	6/10	質的研究(1) 研究デザイン：方法の特徴、限界 (サンプリング、データの算出、コード化、カテゴリ化等)	秋鹿 加藤
19・20	6/17	① 質的研究(2) 質的記述的研究、グラウンデッド・セオリー	
21・22	6/24	② 質的研究(3) エスノグラフィー、現象学	
23・24	7/1	③ 質的研究(4) 事例研究、質的統合法	
25・26	7/8	④ 質的研究(5) アクションリサーチ、まとめ	
27・28	7/15	看護研究における倫理 ・看護研究における倫理的問題と倫理的配慮 ・看護研究倫理審査申請への準備	福岡
		研究における文献検討の意義と活用 ・文献クリティークの方法	
29・30	7/22	研究における文献検討の意義と活用 ・課題文献のクリティークと活用	

※時間外で、図書館の文献検索研修を受講すること（数人でまとまって申し込むこと）。

※4/15は「看護倫理」の集中講義のため休講とし、5月27・6月3日に振り分ける。